

NEWSLETTER FROM
TICON GROUP

FORWARD

April-June 2016 | ISSUE 10

インドネシアの
レンタル工場

第2フェーズを開発

アセアン経済共同体(AEC)が

大メコン経済圏(GMS)諸国及び、
マレーシア、シンガポールの
物流に及ぼす影響(1)

高齢者の運転免許証更新

(第2部)

TPARK が 「グリーン倉庫」を始動

品質と環境保護を強化

Aden株式会社

eコマース事業を成功に導く秘訣



Please contact
Khun Nutthawut of TFIX team
at mobile no. 095-365-5639;
or E-mail: tfix@ticon.co.th

The TFIX team provides a one-stop maintenance service and consultation for TPARK customers under the Property Management Department of TPARK.

General structural works



System works



Architectural works



Sanitary works



The 4 pillars of
our service comprise
system maintenance,
extension, decoration
of interior and exterior
of warehouses



Message from the Managing Director



Mr. Virapan Pulges
Managing Director
TICON Industrial Connection Public
Company Limited

タイは2016年上半期も景気低迷が続いており、多くの事業者は生き残りをかけて事業計画の見直しや新しい投資機会の開拓を迫られています。TICONグループもまた、好立地の土地を準備することに加えて、新規顧客層の開拓を進めています。現在、特に中国の事業者を注視しています。

ここ2～3年、中国の有望な投資家がタイに投資しており、最も注視すべき国となっています。外国投資の数字を見ても、上半期は新規顧客の比率が増加しています。これらの新規投資家が安いコストと労働力を求めて新たな製造拠点を探していることの証

左とも言えます。タイも中国にとって魅力ある投資先のひとつとなってきており、将来さらに投資が拡大することが予想されます。

TICONは今年下半期、投資の方向性として海外の成長に注目しています。現在、ASEANでの投資拡大を目指してフィージビリティスタディを実施し、複数の提携候補先と交渉中です。全てが計画通り円滑に進めば、近々読者の皆様にご報告できるようなになると思います。

ISSUE 10 April-June 2016

CONTENTS



FACTORY SPOTLIGHT

インドネシアのレンタル工場、第2フェーズを開発

8



WAREHOUSE SPOTLIGHT

TPARKが「グリーン倉庫」を始動、品質と環境保護を強化

10

COFFEE TIME WITH GURUS 4

アセアン経済共同体(AEC)が大メコン経済圏(Greater Mekong Sub-region=GMS) 諸国、マレーシア及びシンガポールの物流に及ぼす影響(1)

JAPAN CORNER 6

高齢者の運転免許証更新(第2部)

INVESTOR FOCUS 13

オフショア会社とファイナンス戦略(1)

EVENTS NEWS 14

NEW TENANTS 15

OPERATION CAFE 14

Aden株式会社

eコマース事業を成功に導く秘訣

PROPERTY HIGHLIGHT 18

TAKE A BREAK 19

Krua Baan Chao Phraya

FORWARD

Consultants

MR. VIRAPAN PULGES
MR. TAN JITAPUNKUL

Executive Editor (English)

MS. HATAIKAN DUTTADINTORN
MR. RUAIRIDH WATTERS
MR. THANATDECH SIRIVORANAN

Executive Editor (Japanese)

MR. TAKASHI FUSE

Executive Editor /

Art & Design Director

MS. HATAIKAN DUTTADINTORN
MR. THANATDECH SIRIVORANAN

Editorial Staff

MR. THANATDECH SIRIVORANAN

TICON TPARK

Published on Behalf of:

TICON GROUP

175 Sathorn City Tower, 13th Floor,
Suite 1308, South Sathorn Road,
Sathorn, Bangkok
10120 Thailand

Tel: +66 (0) 2679 6565

Fax: +66 (0) 2679 6569

Email: logistics@ticon.co.th

www.ticon.co.th

Follow us on

Twitter@TPARK_Live



Article by Dr. Vatcharapol Sukhotu

Logistics and Supply Chain Professor
Naresuan University

Contact: vsukhotu@aggienetwork.com

アセアン経済共同体(AEC)が 大メコン経済圏 (Greater Mekong Sub-region=GMS)

諸国、マレーシア及びシンガポールの物流に及ぼす影響(1)



2016年がスタートし、コスト管理が経済低迷期における重要な課題のひとつと考えられています。なかでも物流はマクロ経済及びミクロ経済両面において事業運営上のカギとなるコストです。今年はASEAN経済共同体(AEC)の発足年でもありますので、当コラムではこれら2つの論点を結びつけて、流れを追ってみたいと思います。

ここでは、南北経済回廊における実際の物流コストとその変化に関する調査データを引用します。この調査はタイ国家調査評議会(National Research Council of Thailand=NRCT)及びタイ調査基金(Thailand Research Fund=TRF)の調査研究費により実施されたもので、私はその調査チームの一員でした。調査では情報収集を行うとともにタイ国内及び南北経済回廊が通る各国の物流業者や物流関連機関にインタビューを行い、アセアン及び中国南部における物流事業について多くの課題を知ることができました。当コラムではこのうちのいくつかをご紹介します。

AEC設立は、(1)単一市場と単一生産拠点、(2)競争力のある経済地域、(3)公平な経済発展、(4)グローバル経済への統合という4本の柱から成るAECブループリントに基づいて進められてきました。このうち(1)の重要な論点は、大メコン経済圏(GMS)の開発に伴う自由な商品流通で、物流はGMSを構成するタイ、ミャンマー、ラオス、カンボジア、ベトナム、中国南部、さらにはマレーシア、シンガポールなどのアセアン諸国で増加すると期待されています。調査結果では、中国からシンガポールに至る物流活動の結果としてタイの主要国境ポイントを通過する物流量が増加すると推測されています。



南北経済回廊



東西経済回廊



GMS域内の主な経済回廊である南北回廊と東西回廊を見てみましょう。地図で分かる通り、タイが域内における物流ルートの中に位置しています。しかし、タイが物流ハブになるのか、或いは単なる通過点で終わるのかは商品の出発地および目的地、商品の流通プロファイル等のいくつかの要素が

からんできます。例えば、1台のトラックに満載して出発地から目的地まで輸送する場合、国境通過の業務しか発生しませんが、出発地から複数の目的地に輸送する混載貨物の場合は物流ハブとしての付加価値が発生することになります。

“Logistics indicators are essential for assessment of the competitive edge of each country, since they impact costs of the total supply chain of business operations, as well as the potential to answer to the demands of customers of that particular nation.”

物流面の指標は、各国の競争力を評価する重要な指標です。なぜなら、それはサプライチェーン全体の事業運営コストに影響を与えると同時に、当該国における顧客ニーズに応じるための潜在力にもなり得るからです。

(次号に続く)



Disclaimer: This article was written by third parties. Such article is owned by their authors for publication on the newsletter. TICON group does not warrant, endorse, guarantee or assume responsibility for any third party articles including their accuracy, or the intellectual property rights in or relating to such article. For more information, please contact directly to the author of this article.



Mr. Takashi Fuse
Advisor
TICON Logistics Park Co., Ltd.

高齢者の運転 免許証更新 (第2部)

高齢運転者による事故の増加に対処するため、政府は過去2度に亘って道路交通法を改正し、70歳以上の免許証保有者が免許証を更新する際、次のような検査を受けることを義務づけました。

70歳から74歳のまでの場合

2001年の道路交通法改正により、次の検査を受けなければなりません。

- ① ビデオと教習所指導員による交通ルールの再確認の指導を受ける。
- ② 機械を使った運転適正診断、動体視力や夜間視力検査を受ける。
- ③ 教習所指導員と一緒に車に乗り、教習所内のコースを走行して指導を受ける。

検査の結果は「記憶力・判断力が低い、少し低い、心配ない」の3つの評価で示されますが、「低い」であっても免許証は更新されます。有効期間は3年間です。

75歳以上の場合

2009年の道路交通法の改正で、75歳以上の場合は左記の検査に加えて次のような追加検査を受けなければならなくなりました。これがいわゆる「ボケ検査」と言われるものです。

- ① 検査当日の年月日と曜日を記す。
- ② 検査を受けている時刻を記す。
- ③ 何の脈絡もない4種類の品物の絵(例えば機関銃、ピアノ、りんご、鍋)が描かれたボードを1分間ほど見せられ、これらを記憶することが求められる。さらに別の4種類の絵が描かれたボード3枚が次々に示され、1枚目と同様に記憶する。即ち、全部で16種類の品物の絵を記憶することが求められる。
- ④ 紙に円を描き、時計の文字盤(1から12までの数字)を描いたあと、指定された時刻(例えば11時10分)を示す長針と短針の位置を描く。
- ⑤ 上記④で数分間を費やしたあと、③で見せられた16種類の品物を出来るだけ多く書き出す。

高齢の免許保有者に対してこのような検査を義務づけ、検査結果次第では面許証を発行しない制度を設けている国が日本以外にあるかどうかは寡聞にして知りませんが、恐らく他国にはない制度であろうと思います。2014年(74歳)、タイ運転免許証を更新しましたが、色盲検査や簡単な反応テストだけで更新できましたので、少なくともタイにはありません。



“It is an ideal if we can create a society where *elderly people having difficulty in driving do not need to drive a car*. However, it is extremely difficult in terms of cost to maintain public transport network in the areas where its users are decreasing.”

高齢になり運転に自信を持てなくなったことを自覚して自発的に免許証を返上すれば、身分証明書代わりのカード（運転履歴書）が支給され、公共交通機関の料金が割引されるなどの特典を付与する自治体もありますが、自主返納はなかなか進んでいないのが実情です。公共交通網が発達している大都市では車がなくても不便は感じません。しかし、過疎化の進む地方では、公共交通機関は減少する一方であり、完全になくなってしまった地域もあります。こうした地域に住む70万人ほどの高齢者には自動車しか移動手段がありません。彼らにとって車とそれを運転するための免許証は日常生活を送るための必需品であり、免許証の自主返納は不可能です。

「運転が困難な高齢者は運転をしなくても生活できる社会」の実現が望ましいのは事実です。しかし、公共交通機関の利用者が減少して行く地域でそれを維持することは、コスト面で極めて困難です。最近では自動ブレーキを備えた車や自動運転の車が登場しており高齢者にとっては朗報ですが、価格の問題もあり普及にはまだ時間がかかりそうです。当面は法制度、教育、道路環境の改善などによって高齢者による事故を減らす工夫をするしかなさそうです。



The Emperor of Japan

以下は余談です。

日本の天皇は運転免許証をお持ちです。皇太子時代の1954年に免許を取得されたとのこと。テニスコートや東御苑に向かう際などに皇后を助手席に乗せて運転されるなど、運転場所は皇居内に限られていて公道を走ることはありませんが、それでも車を運転する以上免許証は所持していなくてはなりません。しかも免許証の更新に当っては天皇といえども例外は許されず、前ページの講習や検査を受けなければなりません。新聞報道によれば、昨年12月に82歳になられた天皇は今年1月、警視庁の担当者立会いの下、上述の高齢者講習や適性検査を受け、持ち込まれた信号機に従って実地運転もされ、免許証を更新されたとのこと。これで85歳まで運転出来ますが、天皇ご自身の意向で、免許更新は今回が最後になるとのことです。■

インドネシアの レンタル工場、 第2フェーズを開発

90%以上が入居済みとなったインドネシアのレンタル工場・倉庫の成功を受けて、TICON、PT SURYA SEMESTA INTERNUSA TBK(SSIA)、三井物産3社の合併会社であるPT SLP SURYA TICON INTERNUSA (SLP) は今年、自動車、エレクトロニクス、消費財の各産業の継続的な成長に対応するため、第2フェーズを開発します。

SLPのレンタル工場はインドネシアのスルヤチプタ・テクノパーク内にあり、完成すれば第2フェーズの総面積は最大24,100㎡になります。

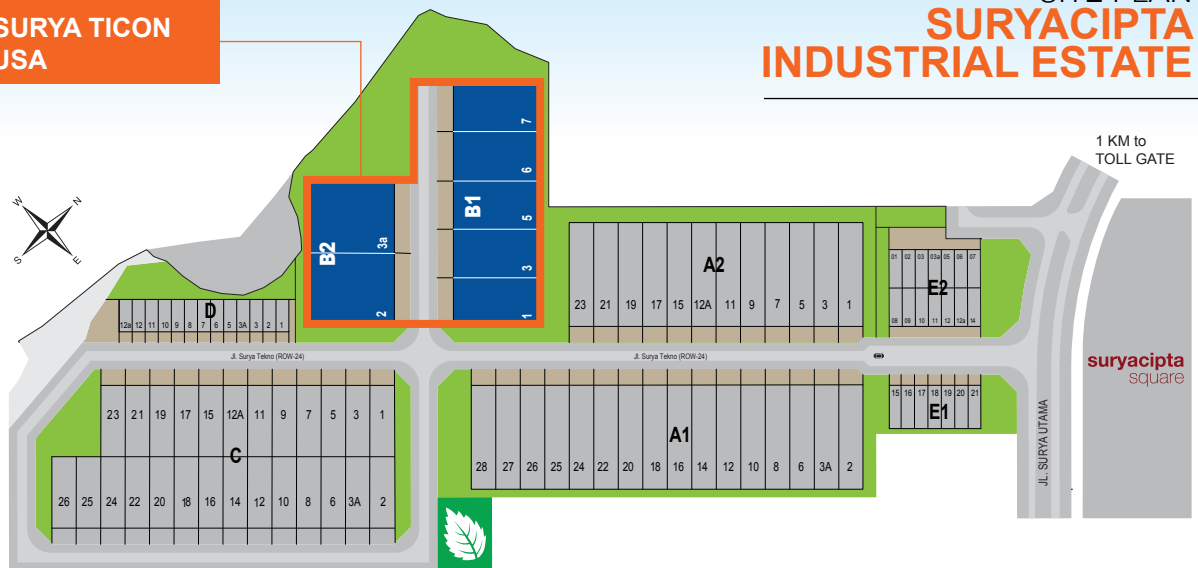
プロジェクト詳細:

総面積: 24,100 sqm.
工場面積: 2,250 – 4,800 sqm.
床耐荷重: 2 tons / sqm.
天井高さ: 6-8 meters



PT SLP SURYA TICON
INTERNUSA

SITE PLAN SURYACIPTA INDUSTRIAL ESTATE



プロジェクトの特徴

戦略的立地

TICONのレンタル工場はカラワン市のスルヤチプタ工業団地 (Suryacipta City of Industry) の入口近くに位置しています。このテクノパークはカラワット空港やシラマヤ港をつなぐ幹線道路や有料道路にアクセスするのに便利な場所があり、インドネシアでは最良の場所と考えられています。

地域経済の中心地

プロジェクトが立地するカラワン市はインドネシア経済における重要地域であり、また小売、近代取引、建設資材などのさまざまな産業を惹きつける、急成長する取引やサービスの中心地でもあります。このため、SLPのレンタル工場は、製造拠点や物流の利便性を求める企業にとって最善の立地ということが言えます。

即入居可能な高品質の工場

当プロジェクトには最新かつ世界基準のインフラが揃っています。工場は製造規模に応じて2,250㎡から4,800㎡のサイズを用意。天井高さは6～8m、床耐荷重は1㎡あたり2tとなっています。



投資奨励政策ですが、インドネシア政府は現在、外資誘致を目的として投資法規を改定中です。また、インドネシアは購買力となる2億2,000万人以上の人口を抱えており、外資にとって有望な投資先です。

詳細はwww.slp.idをご参照ください。



TPARK

「グリーン倉庫」を始動

品質と環境保護を強化



昨年末TICONがグリーン工場をオープンして好評を博したのを受け、TPARKも今年に入って、TPARKワンノイ2においてグリーン品質を目指して、品質と環境保護を強化したグリーン倉庫プロジェクトを開始しました。TPARKワンノイ2の倉庫は、米国グリーンビル協会(USGBC)の環境性能評価システムであるLEED(LEADERSHIP IN ENERGY AND ENVIRONMENTAL DESIGN)の認証を取得しました。TPARKバナナの倉庫は年内の認証取得を目指しています。

なぜグリーン倉庫なのか？

TPARKは環境保護に配慮するとともに、プロジェクト近隣の地域社会の生活環境にも配慮しており、いまやTPARKの標準となっている省エネ倉庫に焦点を当てたグリーンビル建設を進めています。銀賞レベルのLEED認証を取得したTPARKワンノイ2は、従来の倉庫と比べて30%以上の省エネを実現し、建屋内の作業者にとってより快適な作業環境を提供しています。

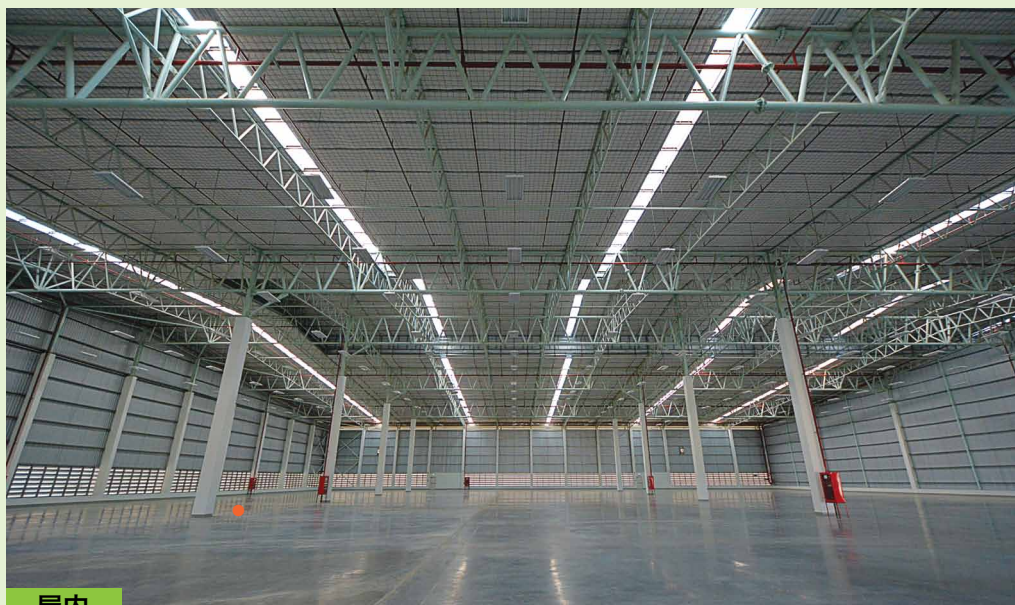
TPARKのグリーン倉庫を利用する顧客のメリットは？

TPARKのグリーン倉庫は、建物内での省エネが可能になるように設計されています。例えば二酸化炭素排出を削減し、水の使用量や建設過程におけるごみの削減などが行われています。詳細は次の通りです。



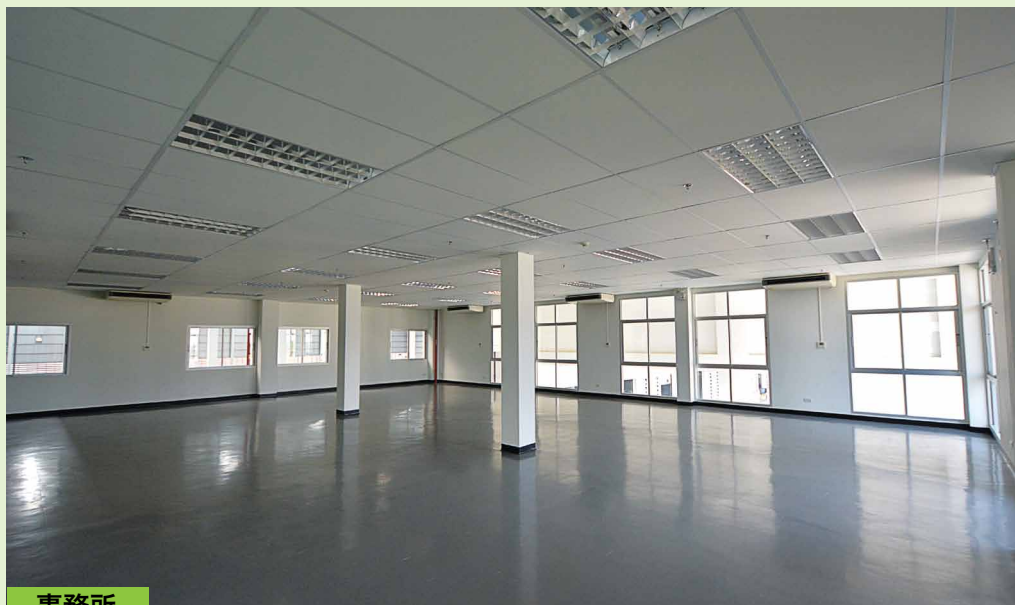
屋外

- ゴミ保管・分別エリアを設置。
- 建屋周辺に樹木を植え、緑地エリアを拡大。植物は手入れし易く水の使用量が少ない種類を選定。
- 自転車用駐輪場およびエコカー用駐車場を設置。
- カープール(車の乗り合い)によって省エネをするための看板(Car Pool)を設置。
- 作業者の健康増進のため禁煙エリアを設置。



屋内

- 通常の電灯と比べて30%以上節電が可能なT5 省エネ電灯を使用。
- 建屋内の空気の流れを促し室温を下げるための換気扇を設置。
- 建屋内全面禁煙。



事務所

- 省エネおよび過冷却防止が可能なエアコンの選定。
- 建屋内の室温を低減するLow-E複層ガラスを使用。
- 建屋利用者の健康を守るため、化学物質の発生を低減する壁用塗料を使用。
- 節水が可能な衛生陶器を選定。

TPARKのグリーン倉庫はどこにあるのか？

銀賞レベルのLEED認証を取得している倉庫(面積25,380㎡)が現在TPARKワンノイ2にあります。顧客の注文倉庫として建てられるもうひとつの倉庫(面積20,736㎡)はTPARKバンナにあり、現在建設中で、今年第3四半期に完工予定です。



LEED認証の取得はどのようにして取得するのか？

多くの手順があり、次の3分野において審査されます。

1. 設計 2. 建設 3. ビル運用

審査項目は次の6つのカテゴリーで構成されています。



持続可能な立地の利用 (Sustainable Sites)

環境への影響を最小化し、
緑地スペースがあること。



材料と資源 (Materials and Resources)

リサイクル建築資材や地場で入手可能な原材料の活用、リサイクルゴミの分別エリアを設置。



水の効率的利用 (Water Efficiency)

節水が可能な衛生陶器の選定等による建屋内での節水。



室内環境 (Indoor Environmental Quality)

建屋内における利用者の作業環境の管理。



エネルギーと大気 (Energy and Atmosphere)

エネルギー消費を削減し
再生可能エネルギーを活用。



デザインの革新性 (Innovation in Design)

革新性のある設計と建設。



Mr. Samart Russameerojwong

Chief Investor Relation
TICON Industrial Connection Plc.

読者の皆様の中にはオフショア会社という言葉聞いたことがある方、或いはその概念をご存知の方がおいでになると思います。昨今、国際取引や投資においてオフショア会社が果たす役割が増してきています。



オフショア会社と ファイナンス戦略 (1)

オフショア・ビジネスとは、「特別法」を有する国において供与される恩典を活用してビジネスを行うことを指します。そうした国では、会社情報を公開しない権利を有する、非課税取引が出来るオフショア会社の設立を含む様々な種類の恩典が法律で定められています。オフショア会社は、国によって異なる様々な問題に対して様々な解決方法を提供し、事業者の特別な目的に資する形態の会社であり、以下のような目的のための手段として活用されてきました。

TRADING COMPANY 規模を問わず、外国と輸出入取引を行うのに適した形態の会社で、価格の調整を行う仲介会社として機能します。

FINANCING COMPANY 多くの金融会社や銀行が選択する形態の会社で、内部借入や金利調整のための仲介会社として機能します。

LICENSING COMPANY 通常、知的所有権の取引を行う会社で、契約当事者間の合意に基づいて利益を受ける仲介会社です。

HOLDING COMPANY 海外での投資や株式保有、及び/または高リスクの海外投資などに対処するための手段として、中規模以上の企業によって設立されます。

上述の例示は、オフショア会社の多様性を示すものであり、且つビジネスの規模を問わず、企業がファイナンス戦略の手段としてこれを活用することができます。 ■

(以下次号)

TICONがインドネシアで起工式、レンタル工場・倉庫第2フェーズを開発



TICON Industrial Connection Public Company Limitedのウィラバン・ブーンケート代表取締役(右)とTICON Logistics Park Company Limitedのパターン・ソンプーラナシン代表取締役(左)は、TICONグループの2015年の業績を発表しました。2015年は38%増となる383,825㎡のレンタル工場およびレンタル倉庫を拡張し、売上高48億5,400万パーツ、純利益7億7,000万パーツを達成しました。今年はAEC(アセアン経済共同体)に対応するため、国内外の事業拡張に40億パーツを投資する計画であることを明らかにしました。■



TICONグループ、2016年第1回アナリスト・ミーティングを開催

TICON Industrial Connection Public Company Limitedのウィラバン・ブーンケート代表取締役(左)とサマー・ラサミーロートウォンIR部長(右)はこのほど、2016年第1回アナリスト・ミーティングを開催しました。

このなかで、2015年は38%増となる383,825㎡のレンタル工場およびレンタル倉庫を拡張し、売上高48億5,400万パーツ、純利益7億7,000万パーツを達成したこと、及びAEC(アセアン経済共同体)市場に対応するため、2016年は40億パーツを投資して工場・倉庫併せて28万㎡を増やす目標であることを表明しました。■

TICON、2016年定時株主総会で1株当たり0.5パーツの配当を決議



2016年定時株主総会に出席したTICONグループ経営陣:

(左から)チャチャワーン・ジアラワノン取締役兼監査委員会委員、トリークワーン・ブンナーク取締役兼監査委員会委員、デビッド・デスモンド・タラント取締役兼監査委員会委員長、ジラボン・ウィニットブット取締役、チャリ・ソボンパニット取締役会長、ウィラバン・ブーンケート代表取締役、ネート・ジャランワート取締役

タイ最大手の高品質レンタル工場・倉庫供給会社であるTICON Industrial Connection Public Company Limitedのウィラバン・ブーンケート代表取締役はこのほど、2016年度定時株主総会を開催しました。

株主総会では2015年の純利益が7億6,974万パーツであったことを報告。配当金は、配当性向71.4%となる1株当たり0.5パーツ、合計5億4,957万パーツとすること、配当金を受領する株主リスト確定日を2016年5月9日とすること、支払日を2016年5月19日とすることなどを決議しました。■



Dongxuda (Thailand) Co., Ltd.

Dongxuda (Thailand) 株式会社は電子部品の製造システムであるFPC産業システムソリューションの製造会社で、世界の主要顧客5社に製品を供給しています。同社はこのほど、製造推進のため、バンパイン工業団地内のTICON工場(面積:1,500㎡)の賃借を決定しました。



Sanwa Felt (Thailand) Co., Ltd.

サンワフェルト(タイランド)株式会社は不織布・フェルトメーカーである株式会社フジコーの子会社で、日系のフェルト加工会社です。フェルト加工品は通常、スペーサーやトナーシール材でOA機器の部品に使用されます。同社はユーザーの現地調達の要望に応える為、アジア工業団地内のTICONミニ工場(面積:550㎡)を賃借しました。



Thaisun Green Energy Co., Ltd.

Thaisun Green Energy株式会社は商業用、住宅用及び産業用のソーラーセルやソーラーモジュールを製造する中国企業です。同社はこのほど、製造に使用するため、ピントン工業団地内のTICON工場(面積:3,600㎡)の賃借借契約書に調印しました。



Thilium Co., Ltd.

Thilium株式会社はタイ及びアセアンにおける最初のシリカエアロゲルの製造会社です。この製品は最善の断熱材として世界中に知られており、断熱コーティング、先進的な断熱材、新しいビル用建材などの省エネ材として使用されています。同社は製造目的のため、このほどアマタナコン工業団地内のTICON工場(面積:1,125㎡)を賃借しました。



KUEHNE+NAGEL

Kuehne+Nagel Ltd.

Kuehne+Nagel株式会社は輸出入貨物の海上輸送や航空輸送、通関、物流マネージメントなどを手掛けるスイスの物流サービス会社です。同社はこのほど、ビジネス拡大に対応するため、TPARKイースタンシーボード1(B)及びTPARKレムチャバン2の複数の倉庫(合計面積:11,234㎡)を賃借しました。



Kintetsu Logistics (Thailand) Co., Ltd.

近鉄ロジスティクス(タイランド)株式会社(以下KLT)は倉庫、配送サービスを提供している日系の物流企業です。同社は事業拡大の為、このほどTPARKワンノイ1内で追加倉庫(合計面積:11,700㎡)の賃借を決定しました。KLTは、航空、海上、CBT、通関業、国内配送業務を行っている、近鉄エクスプレス(タイランド)株式会社と共にお客様にワンストップサービスの提供を行っております。



Rojana Distribution Center Co., Ltd.

住友倉庫の子会社のひとつであるロジャナ・ディストリビューション・センター株式会社は日本を代表する物流会社です。同社は最近、その物流事業に使用するため、TPARKレムチャバン1内の倉庫(面積:5,220㎡)を賃借しました。



ADEN株式会社

eコマース事業を 成功に導く秘訣



現在、Eコマース事業が人気を集め、ネット通販を好む消費者の消費行動に合わせる形で急成長しています。小規模事業者の場合、商品配送作業は自身で行っているかも知れませんが、1日の注文が千単位、万単位になれば簡単ではないでしょう。その答えが受注後の顧客サービスを時間通り、正確に、効率的に提供するフルフィルメント・サービスなのです。

フルフィルメント・サービス 業務とは？

フルフィルメント・サービス業務は、複雑かつコストのかかるサービスであるとともに、商品の品質を検査し、商品を選び、最高の梱包サービスを提供するというサービスを理解する人材を多数雇う必要のあるサービスです。

商品は色、香り、番号、モデル等厳格に選定される必要があり、顧客の注文に合致し、かつ傷がなく、型崩れしておらず、汚れない状態でなければならず、また丁寧に梱包されていなければなりません。これこそが顧客のリピート率を高める秘訣です。

Adenは現在、8,000㎡超の倉庫に2万種類、150万点以上の商品を保管し、1日平均8,000、最高で17,000もの注文を処理しています。これはタイ国内でも大きな規模と見られており、以下のようなサービスを円滑に行っています。



■ サプライヤーからの商品受理

もしあなたがサプライヤーであれば、商品を引き取り倉庫に保管するようにAdenにコンタクトするだけで結構です。サプライヤーは販売に集中するだけでよく、商品を輸送する必要はありません。

■ 在庫管理

効率的に商品管理ができるようにAdenは販売業者に在庫数を通知します。

■ 梱包

これがフルフィルメント・サービスの核となります。すべての商品の品質を検査し、丁寧に梱包することで返品を防止します。返品が増えればコスト増につながるため、スタッフは例えば口紅のトーンやシャンプーの香りといった細かな部分においても商品を理解する必要があります。

■ 配送

バンコク都内は1日、それ以外は2日で購入者の手元に商品を届けます(サイズの大きい商品を除く)。

■ 着払いサービス

商品確認後に支払いができるため、タイ国内では50%以上が着払いを好みます。

■ 返品管理

顧客からの返品が最少になるように管理します。



ネット通販を利用する理由のうち配送に関するものは次の通りです。

46% 買い物に外出する手間暇の節約

33% 早い配送

29% 無料配送サービス
(または最低注文数を設定)

22% 丁寧な梱包

14% 着払いサービス

一方、ネット通販の障害となる問題は以下の通りです。

58% 商品配送が遅い

29% ウェブサイトに掲載されている商品と違うものが届いた

24% 欠損のある商品を受け取った

9% 商品が届かなかった

これらの問題点は、効率の悪いフルフィルメント・サービスから生じていますが、こうしたサービスをフルフィルメント・サービス供給業者にアウトソーシングすることによって問題を回避し、マーケティングや顧客サービスにより注力することが可能となります。

フルフィルメント・サービス事業は、B2C eコマースに適合するように設計されたソフトウェアと配送日時や場所を指定できる配送業者との強い連携が必要です。これらはコスト増の要因となりますが、顧客満足度が上がれば投資に値するものとなります。■

詳細は下記URLをご覧ください。
<http://www.marketingoops.com/news/e-commerce/aden-fulfillment-ascend-group/>



今回も読者の皆様に素晴らしいプロジェクトをご紹介します。ご紹介するのはアジア工業団地(スワンナプーム)内のTICONの高品質レンタル工場です。2015年にオープンした面積550㎡のミニ工場が好評を博し、高い入居率を示しましたので、増大する中小企業の需要に応えるため、フェーズ2として今年はさらに10ユニット、合計5,500㎡を拡張します。この第2フェーズは今年第2四半期に竣工予定で、完成すればミニ工場の総面積は11,000㎡となります。バンコクやスワンナプーム国際空港に近く、自動車、エレクトロニクスの事業者に適した立地となっています。詳細をお知りになりたい方或いは現地見学をご希望の方は下記にご連絡ください。



詳細問合せ、工場見学のご連絡は下記まで。

Tel: +66 (0) 2679 6565

Email: marketing@ticon.co.th または info@ticon.co.th (日本語)

利用可能な物件はここ
でチェック!



利用可能な物件:

所在地: アジア工業団地(スワンナプーム)

工場面積: 550 - 4,200㎡

床耐荷重: 2t/㎡

天井高さ: 7m

今回ご紹介する高品質レンタル倉庫は、タイ北部における初のプロジェクトであるTPARKランブーンです。当プロジェクトはランブーン県にあり、チェンマイ市やチェンマイ空港に近く、物流や配送事業に適しています。周辺にはタイ北部の主要工業団地があります。北部で最大規模の工業団地のひとつであるランブーンのノザーン工業団地から8キロ、同じくランブーンのサハバットグループ工業団地から15キロの場所に位置しており、小売、消費財、物流事業者に適した立地となっています。第1フェーズは入居可能となっています。

利用可能な物件:

所在地: バンコクから国道11号線をランバン県に向かって約1,040キロ。国道右側の一般工業区に立地。

倉庫面積: 840㎡/ユニット

床耐荷重: 2t/㎡

天井高さ: 8m



詳細問合せ、工場見学のご連絡は下記まで。

Tel: +66 (0) 2679 6565

Email: marketing@ticon.co.th または info@ticon.co.th (日本語)

利用可能な物件はここ
でチェック!



Take a Break



Chu Chee Pla Mor

bles)、「クンジアン・ラートソースマカム」(濃厚なタマリンドソースのかかった新鮮で引き締まったエビ Shrimp in tamarind sauce)です。

その他のお薦めは、「プーロン」(蟹シチュウ Crab stew)「チューチャー・プラーモー」(薄めのカレーに浸かったジャワ・ティラピア Java Tilapia in reduced curry)、「ラーブ・ムートート」(揚げた豚細切れ肉入りの辛いサラダ Fried minced pork spicy salad)、「ナムプリック・カイプー」(蟹卵入りの辛いパスタ Chili paste with crab eggs)、「ネーム・クラドゥークムーオン」(軟骨入りの揚げた酸味の豚肉 Fried sour pork with soft bone)、「プーラムック・トートクラティアム」(にんにく入り揚げイカ Fried squid and garlic)などです。



今回の「Take a Break」では、ラカバン・オンヌット地区にあるアジア工業団地(スワンナプーム)に近い有名レストラン「クルア・バーン・チャオプラーヤー」をご紹介します。このレストランは素晴らしい雰囲気と数多くのおいしいタイ料理が特徴ですので、ゆったりと快適に食事ができるレストランをお探しの方に適しています。期待を裏切ることはありません。

特にお薦めする料理は、「ゲーンソム・ベサ・プラーチョン」(新鮮な雷魚の肉と野菜の入った酸味の辛いスープ Sour and spicy soup with snakehead fish and vegeta-



Kang Som Pae Sa Pla Chon



Gung Jian Rad Source Makam



Pu Lon



Nam Prik Kai Pu

Forward読者の皆様への特別サービスとして、この「Take a Break」のページ(または、携帯電話で撮影した写真)をレストランのスタッフに提示しますと10%の割引が適用されます。

Krua Baan Chao Phraya

営業時間:
年中無休、11時~23時

所在地: アジア工業団地スワンナプーム近く。

クルア・バーン・チャオプラーヤー

住所: バンコク都ラカバン区クローンサムプラウェート町オンヌット・ラカバン通り出口21

電話: 089-921-3450

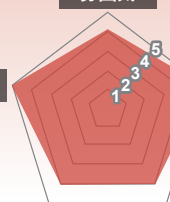
雰囲気

味

価格

サービス

アクセスの
利便性



NO. 1 PROVIDER OF FIRST-CLASS WAREHOUSE IN ASEAN



- International Quality
- Ready to Use
- Strategic Locations

Contact Us: **02-679-6565**

